

タイトル	2024年度 群馬大学共同教育学部 学校推薦型選抜 技術専攻
評価のポイント	<p>【小論文】</p> <p><問></p> <p>技術専攻は、卒業すると多くの人が技術・家庭科（技術分野）の教員になります。あなたが高校時代に「工業に関する科目」で学んだことを踏まえて、教員として、生徒にどのようなことを伝えたいか、あなたの考えを述べなさい。また、将来、教員になるために高校時代の学びを活かし、大学でどのような勉強に力を入れていきたいか、あなたの考えを述べなさい。</p> <p><採点のポイント></p> <p>本問題は、高校で身に付けた知識・技能を自分の強みとして、教員を目指す大学での学びについての考えを問う問題である。以下の4つのポイントが明確に記載されているかを中心に採点を行った。</p> <p>①「工業に関する科目」で学んだ内容が記載されていること</p> <p>②「工業に関する科目」で学んだ経験を生徒にどのようなことを伝えるかが記載されていること</p> <p>③高校で身に付けた知識・技能を自分の強みとして、教員になるために大学でどのような勉強に力を入れていきたいかが記載されていること</p> <p>④大学卒業後、教職につく意志が記載されていること</p> <p><回答例></p> <p>私は、中学校時代、技術・家庭科（技術分野）の学習で、ものづくりを専門的に学んでみたいと考え、工業高校に進学しました。工業高校では、1年生で履修した「工業技術基礎」で木材加工、電気、機械、情報の基礎的な内容を学習し、2年生から専門的な学習をしました。私は建築を専門とする学科に所属していたため、建物の構造や木材や金属などの材料の特徴などを専門に学び、建築に関する資格を取りました。また、3年次の卒業研究では、古民家の構造について調査をし、その構造を3DCADで設計し、再現しました。私は、この研究で、古い建物に使われている木材は、その材料のくせを生かして作られていることを知りました。私が調査した古民家は、梁の材料が曲がっているのですが、その曲がっている材料をうまく組み合わせバランスをとっていました。そして、現在の多くの建物が古い建築物の構造や材料の特性をヒントに新たなものを作りだしていることを知りました。私が技術・家庭科（技術分野）の先生になったときは、新しい技術は、古い技術を生かして新たなものに生まれ変わっているということを科学的な視点から伝えたいと思います。</p>

ただ、私は、まだ、中学生に指導した経験はありません。大学では、中学校に指導するための方法論を学ぶとともに、分かりやすく伝えるための実験や模擬体験の方法について学び、技術・家庭科（技術分野）が子どもの将来を開くような先生になる力を身に着けたいと思います。そして、私が中学生の時に感じたようにものづくりを専門的に学んでみたいという生徒を育てたいと思います。

【面接】

<評価のポイント>

1. 大学卒業後、教師になる強い意志があるか
2. 論理的で柔軟な思考力を持っているか
3. 科学技術やものづくりに対する興味・関心
4. 様々な学問分野について自ら積極的に学ぶ姿勢
5. 工業高校で取り組んだ学習を具体的に答えられるか
6. 大学での目標を明確に持っているか